（参考様式第１４号）

平成２７年度離島漁業再生支援交付金による取組概要

１．集落協定の概要

都道県名：北海道
市町村名：利尻町
協定締結集落名：沓形地区漁業集落
①□ 基本交付金額：１９，０４０千円　　②　新規就業者特別対策交付金：４２１，６５６円
協定参加世帯数：１４５人（うち漁業世帯１４２世帯）

２．協定締結の経緯

漁業が基幹産業である本集落では、漁業者の減少や高齢化が進んでおり、このまま放置すれば本集落の漁業は一層衰退し、水産業・漁村における多面的機能も失われていく懸念があるため、漁場の生産力向上の取組や集落の創意工夫を活かした取組を実施することにより、多面的機能の維持増進を図るとともに、集落活動の活性化、水産業・漁村の振興発展に資することを目指して、離島交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

３．取組の内容

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

（種苗放流）

天然漁場における磯付資源の維持増大を図るため、ウニ人工種苗(20 ㎜、7 ㎜サイズ)1,400 千粒の放流やアワビ人工種苗(30 ㎜サイズ)15 千粒、ナマコ人工種苗(18.6 ㎜サイズ)40 千個の放流を実施した。

ウニ人工種苗(20 ㎜)放流

アワビ人工種苗(30 ㎜)放流

ナマコ人工種苗(18.6 ㎜)

（漁場の管理・改善）

ウニの害敵であるヒトデ・カニの篭での駆除を漁業者全員により延べ 725 回の実施や、ウニ漁場等の餌料不足解消のため促成コンブの給餌を実施して漁場の維持管理を図っている。

ヒトデ・カニ駆除

ウニ漁場給餌用促成コンブ種苗糸

ウニ漁場給餌用促成コンブ引き揚げ

（漁場の管理・改善）

良好なリシリコンブ漁場が雑海藻に覆われている状況にあるため、雑海藻駆除船（SK フープ）による駆除を 5,000 ㎡行い漁場の回復を図った。また、集落若手グループが試験的にチェーン振りによる雑海藻駆除を 2,500 ㎡実施した。他にコンブ資源の維持や手法開発を目的として、天然コンブ漁場の定点調査を実施した。

雑海藻駆除施行状況

雑海藻駆除（チェーン振り）

コンブ成育調査

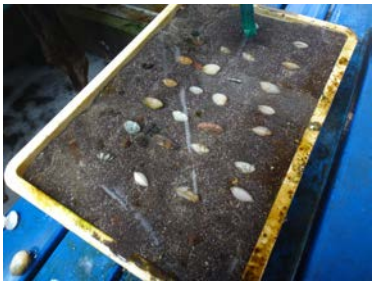
②漁業の再生に関する実践的な取組

（アサリ育成試験）

現在未活用のアサリの資源増産や新規漁業に繋げることを目的として、アサリ母貝の飼育試験を実施した。

（ウニ受精卵放流）

ウニ資源の増産を目的として､漁業者自らがウニの採割用海水に含まれる受精卵の放流を実施した。



アサリ母貝育成試験状況

ウニ採割海水

受精卵放流状況

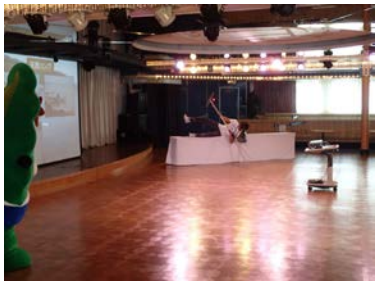
（漁業就業者支援）

近年漁業者の高齢化に伴い、後継者不足が深刻な問題となっているため、漁業就業者フェアに参加し就業希望者と面談を行い、漁業研修生の確保を図る。

（水産品の普及及び販売促進活動）

水産品の普及促進、販売促進を目的として、沓形港にクルーズ船が寄港した際に船内イベントにて現役漁師による漁法の解説や、管理栄養士等に協力をいただきコンブの栄養や調理方法などの解説を実施した。また、岸壁歓迎ブースにて地場産水産品を使用した料理のふるまいを行い普及、販売促進活動を実施した。

漁業就業者フェア参加状況



船内イベント漁法説明状況

ふるまい状況

③新規就業者に関する取組

（漁船・漁具等の貸与）

新規就業者２名に対し、年間を通し漁船や漁具等のリース支援を実施した。

リース対象漁船

リース対象漁具

操業状況

4. 取組の成果

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

（種苗放流）

ウニ、アワビ、ナマコ等の種苗放流を実施することにより、今後安定した生産量の確保と所得の向上が期待される。

（漁場の管理・改善）

ウニの害敵であるヒトデやカニの駆除及び磯ツブの駆除をするとともに、天然コンブの害敵である稚ノナ等の駆除方法を検討することで、漁業者自らが漁場の管理改善や回復を図ることによって管理型漁業の意識が高まり、漁業経営の安定が図られた。

②漁業の再生に関する実践的な取組

（アサリ育成試験）

未利用となっているアサリ資源の増産を目指すことで、今後の新規漁業への着手が期待される。

（ウニ受精卵放流）

受精卵を放流することでウニの増産も期待され、今後最適な放流方法も検討することにより、資源増産に対する漁業者の意識向上が図られた。

（漁業就業者支援）

町内の小中学生に体験学習や出前授業を実施することで、小中学生が魚介類のおいしさや漁業への知識や興味を持つことができた。

（水産品の普及及び販売促進活動）

クルーズ船寄港時に活動を行うことで、より多くの観光客へ水産品の普及及び促進活動を実施することができ、なおかつ漁業者自らが漁法の説明を行うことで漁業者の普及活動に対する関心の向上が図られた。

③新規就業者に関する取組

（漁船・漁具等の貸与）

新規就業者２名に対し漁船や漁具等のリース支援を行うことにより、新規就業者の確保及び定着が図られた。

（参考様式第１４号）

平成２７年度離島漁業再生支援交付金による取組概要

１．集落協定の概要

都道県名：北海道
市町村名：利尻町
協定締結集落名：仙法志地区漁業集落
①　基本交付金額：１４，８２４千円
協定参加世帯数：１１５人（うち漁業世帯１０９世帯）

２．協定締結の経緯

漁業が基幹産業である本集落では、漁業者の減少や高齢化が進んでおり、このまま放置すれば本集落の漁業は一層衰退し、水産業・漁村における多面的機能も失われていく懸念があるため、漁場の生産力向上の取組や集落の創意工夫を活かした取組を実施することにより、多面的機能の維持増進を図るとともに、集落活動の活性化、水産業・漁村の振興発展に資することを目指して、離島交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

３．取組の内容

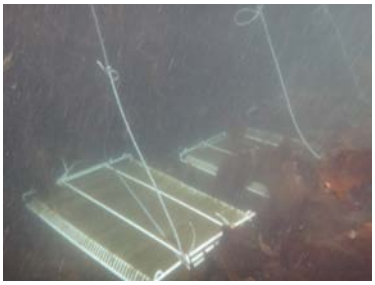
①漁場の生産力の向上に関する取組状況

（種苗放流）

天然漁場における磯付資源の維持増大を図るため、ウニ人工種苗(20 ㎜、7 ㎜サイズ)1,420 千粒の放流やアワビ人工種苗(30 ㎜サイズ)15 千粒、ナマコ人工種苗(18.6 ㎜サイズ)40 千個の放流を実施した。

ウニ人工種苗(20 ㎜)放流

アワビ人工種苗(30 ㎜)放流


ナマコ人工種苗放流(18.6 ㎜)

（漁場の管理・改善）

ウニの害敵であるヒトデ・カニの篭での駆除や磯ツブ駆除を漁業者全員により延べ 345 回の実施や、ウニ漁場等の餌料不足解消のため岸に打ち上がったコンブの給餌を実施して漁場の維持管理を図っている。また、コンブ資源の維持や手法開発を目的とし、稚ノナ等の害敵駆除の検討を行った。

磯ツブ駆除

ウニ漁場給餌用コンブ収集

稚ノナ駆除方法の検討

②漁業の再生に関する実践的な取組

（アサリ育成試験）

現在未活用のアサリの資源増産や新規漁業に繋げることを目的として、アサリ母貝の飼育試験を実施した。

（ウニ受精卵放流）

ウニ資源の増産を目的として､漁業者自らがウニの採割用海水に含まれる受精卵の放流を実施した。

アサリ母貝育成試験状況

ウニ採割海水

受精卵放流状況

（漁業就業者支援）

近年漁業者の高齢化に伴い、後継者不足が深刻な問題となっているため、町内中学生を対象にしたウニの体験学習や漁業士会と連携し小中学生を対象にした出前授業を実施した。

（水産品の普及及び販売促進活動）

水産品の普及促進、販売促進を目的として、沓形港にクルーズ船が寄港した際に船内イベントにて現役漁師による漁法の解説や、管理栄養士等に協力をいただきコンブの栄養や調理方法などの解説を実施した。また、岸壁歓迎ブースにて地場産水産品を使用した料理のふるまいを行い普及、販売促進活動を実施した。

体験学習の実施

出前授業の実施

ふるまい状況

4. 取組の成果

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

（種苗放流）

ウニ、アワビ、ナマコ等の種苗放流を実施することにより、今後安定した生産量の確保と所得の向上が期待される。

（漁場の管理・改善）

ウニの害敵であるヒトデやカニの駆除及び磯ツブの駆除をするとともに、天然コンブの害敵である稚ノナ等の駆除方法を検討することで、漁業者自らが漁場の管理改善や回復を図ることによって管理型漁業の意識が高まり、漁業経営の安定が図られた。

②漁業の再生に関する実践的な取組

（アサリ育成試験）

未利用となっているアサリ資源の増産を目指すことで、今後の新規漁業への着手が期待される。

（ウニ受精卵放流）

受精卵を放流することでウニの増産も期待され、今後最適な放流方法も検討することにより、資源増産に対する漁業者の意識向上が図られた。

（漁業就業者支援）

町内の小中学生に体験学習や出前授業を実施することで、小中学生が魚介類のおいしさや漁業への知識や興味を持つことができた。

（水産品の普及及び販売促進活動）

クルーズ船寄港時に活動を行うことで、より多くの観光客へ水産品の普及及び促進活動を実施することができ、なおかつ漁業者自らが漁法の説明を行うことで漁業者の普及活動に対する関心の向上が図られた。